

平成28年5月30日

## 平成28年度9高専連携事業\* 海外インターンシップ(フィリピン・千代田フィリピン)募集要項

### 海外インターンシップ実施の目的：

グローバルに活躍できる技術者育成のため、海外の日系企業での就業体験を通じて、海外で働くとはどういうことか、グローバルに活躍できる人材に必要なこととは何か、を学生が学ぶことを意図しています。

また、海外での就業体験を通じてグローバルマインドや異文化間コミュニケーションスキルを養成し、国際社会で活躍できる人材を育成します。

※「高専・企業・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成」（略称：9高専連携事業）とは、九州沖縄地区の9つの高専が連携し、インターンシップ、海外研修、専攻科の単位互換等を推進する取組。海外インターンシップは、一般社団法人九州経済連合会と連携して推進している。

- 1. 研修企業：** Chiyoda Philippines Corporation  
千代田化工建設の関連会社であり、社員数917名、うち日本人10名です。  
石油あるいは天然ガスパラント等の設計および建設の業務をされています。  
所在地 5/10/15～21F Sun Plaza Building 1507 Shaw Boulevard cor. Princeton Street, Barangay  
Wack-Wack Mandaluyong City1555, Philippines（マニラ都市圏）  
電話番号 (63)2-571-7596 FAX (63)2-571-7599
- 2. 研修期間：** 平成28年8月29日(月)～9月16日(金) 予定（研修日数15日間）  
出国：8月28日(日)、 帰国：9月17日(土) 予定
- 3. 募集人数：** 2名（機械系，電気系，情報系，物質（応用化学）系，土木系，建築構造系）
- 4. 応募条件：**
  - 1) 専攻科生
  - 2) TOEIC400点以上もしくは日常会話が可能な英語コミュニケーションレベル4以上\*（様式4）が好ましい。
- 5. 申込〆切：** 平成28年6月17日（金）
- 6. 研修内容：** 主として石油あるいは天然ガスパラント等の機械設計、電気設計など
- 7. 実習環境：**
  - 1) 渡航費：7万円ほどの渡航費に対し20%の費用補助あり（補助枠を超えた分は自己負担もしくは高専ごとの支援となります）。
  - 2) 宿泊費：会社負担（ホテルを予定，20泊）。
  - 3) 食費、現地での交通費、文化施設などの見学費用は自己負担となります。
  - 4) 報酬 : 20USドル/日。
  - 5) 勤務日は会社の車で送迎されます。

**8. 必要手続き等：**

- 1) パスポート：有効期間の残りが6ヶ月以上
- 2) ビザ：不要
- 3) 往復の予約済み航空券
- 4) 期間中の障害等保険（約1万円）に加入すること。

**9. 応募方法：**

応募書類は各高専の担当の先生もしくは担当部署にて入手し必要事項を記入の上、平成28年6月17日（金）までに、各校の担当課へ提出すること。

**10. 応募選考について**

選考結果は、6月24日（金）までに応募者本人へ担当の教員より連絡があります。

**11. その他**

- 1) 派遣決定者は、事前ガイダンス（2回予定）には必ず出席してください。
- 2) 派遣決定者は、インターンシップ終了後、インターンシップ報告書を提出してください。
- 3) 後日、インターンシップ渡航報告会での報告をお願いします。

**12. その他**

9高線からの派遣は、今年で3回目です。昨年は有明高専、熊本高専から各1名でした。ほかに、東工大から数年の派遣実績があります。

## 1. 募集日程

時期	実施事項
平成28年5月	<b>5月30日(月)</b> 募集開始(募集期間5月16日(金)～6月6日(月))
平成28年6月	<b>6月17日(金)</b> 応募書類提出締切り
	<b>6月20日(月)～6月24日(金)</b> 派遣学生選考
	<b>6月24日(金)</b> インターンシップ研修派遣学生決定、派遣学生へ通知
平成28年7月	<b>7月上旬</b> ・事前ガイダンス(第1回目) ・決定学生には、全員参加で事前ガイダンスを行います。 ・各種渡航手続き開始(航空券の予約、保険の加入等)実習内容検討 ・研修先企業に必要書類を提出、渡航手続き完了
	<b>7月下旬</b> ※渡航前事前ガイダンス(第2回目:第1回目とまとめて行う場合もあります) ・危機管理、安全管理等について。
平成28年8月	<b>8月28日(日)～</b> フィリピン渡航、インターンシップ開始
	<b>～9月17日(土)</b> インターンシップ終了、日本へ帰国
平成28年9月	<b>9月末</b> インターンシップ報告書提出
平成28年11月頃	後日、インターンシップ研修報告会を行います。

## 2. 問い合わせ先：本プログラムに関する質問は電子メールにて問い合わせてください。

Subject の先頭に“【千代田フィリピンインターンシップ】”と記入（【 】も含む）

9高専連携事業・インターンシップ推進部会委員 有明高専

建築学科 教授 上原修一 uehara@ariake-nct.ac.jp